

## あ ら ま し

本研究では、映像音響資料の高度利用を目指し映像音響資料データベースシステムの構築と運用手法を開発した。

本システムの特徴は、テキスト（文字）情報のみならず、画像や音響を含めてデータベース化したことになる。

映像音響資料は、①動画映像②静止画③文書（原文）に大別できるが、開発した映像音響資料データベースシステムでは、各々の情報の性質をふまえて、適切なデータ蓄積法、検索手法を開発した。また、全国からの検索要求に応えるために、ISDNによる画像伝送システムを附加した。

動画映像のデータベースは自動サマリー作成システムを独自に開発し、静止画素材のデータベースは、デジタル記録による高品質な画像蓄積によって、今後のマルチメディア教材開発支援システムへの展開を考えた。文書（原文）データベースは、国際化時代における言語（文字）に対応するためにイメージ記録とFAXによる情報流通を目指している。

本報告書はシステムの概要、データベースの構築と運用、データの登録、映像機器の運用、利用者登録について述べている。

本システムの開発研究にあたり、支援いただいた、全国の大学関係者、当センター・情報資料室および教官各位に感謝を表するものである。